

# 令和6年第1回富谷市議会定例会

## 一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菊池 美穂	7	出川 博一
2	渡邊 俊一	8	渡邊 清美
3	菅原 福治	9	村上 治
4	浅野 直子	10	須藤 義
5	長谷川る美	11	小松 大介
6	畠山 由美		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	2月15日(木)
受付時間	8:38

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input checked="" type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 成田二期北工業用地について

---

【質問要旨】－簡明に－

本年1月9日、新聞記事等で、「宮城・富谷に新たな工業団地200万平方メートル造成へ」という報道がなされました。成田二期北工業用地は、これまで、東日本最大規模というスケールメリットを売りに、立地する企業が決まった後に造成を始める「オーダーメイド方式」での整備にて事業を進めていましたが、この間、誘致の実現にはいたりませんでした。

私は、令和3年第2回定例会一般質問で、「伐採等一部造成からでも先行して早急に着手すべき」という質問をさせて頂いた経緯があり、このたびの市長および関係各位のご英断を強く支持いたします。

グローバル化が進む経済の状況は日々目まぐるしく変化し、本市が誘致を進めている次世代に向けた成長産業の動向においても明日にも変わる可能性がある昨今、さらに、半導体産業を中心に近隣自治体にも大工場の進出が決まる中、この造成から企業集積が加速することを期待し、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 オーダーメイド方式から、造成を先行する方針に転換した経緯は。
- 2 今後のスケジュール感と方向性は。
- 3 七北田西成田線の整備について。
- 4 造成に関して、県または市からの支援が必要では。その支援はどのようなかたちで想定されますか。
- 5 企業立地優遇制度のインセンティブは十分ですか。
- 6 半導体関連企業誘致のために今後どのようなことに注力していくのですか。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 2 質問件名 子どもの読書活動推進を問う

---

【質問要旨】－簡明に－

近年、高度情報化の進展に伴い、インターネットやスマートフォンの普及等による読書離れが叫ばれ久しくなりますが、子どもの読書活動は、生涯にわたる人間形成の基礎となる部分であり、言語、感性、表現力、創造力を養うためにも大変重要です。また、乳幼児期の読み聞かせ体験がその後の読書習慣や学力の成長に関連性があるとの指摘もあり、子どもに焦点を当てた読書推進に力を入れる自治体が増えています。

その中で、本市でも計画や体制整備を強化し、令和7年度に開館を目指す富谷市民図書館等複合施設では図書館と屋内遊戯施設の融合が図られることから、その特長を生かし、関連分野との連携や共催を通じた、新たな視点からの子ども読書活動推進が望まれます。

生まれた時から多様なメディアに囲まれている子どもたちに対し、家族や地域とともに心を育み、知識と創造性を培い、子どもの世界が広がるよう、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 子どもの読書離れ対策の必要性は。
  - 2 図書館等複合施設の開館を見据え、子どもの読書活動に関する取組をどのように想定していますか。
  - 3 「子ども読書活動推進計画」を策定すべきでは。
  - 4 子どもの読書活動に関する取組は、発達段階や目的に合わせ多岐に渡ることから、関連部局が連携した体制作りが必要では。
  - 5 ブックスタート事業の必要性について。
  - 6 パーソナル知育絵本の導入について。導入した場合の予算の推計は。
  - 7 図書館等複合施設において、児童書・学習資料の充実、また、おはなし会や読み聞かせの充実を求めますが、見解は。
- 

答弁を求める者 市長

---

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	2月15日(木)
受付時間	9:35

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡 邊 俊 一
質 問 方 式	一 括 一 問 一 答

No. 1 質問件名 災害に対しての我が市の取り組みについて

---

【質問要旨】－簡明に－

市民の生命財産を守るのは行政の最大の責務であります。

今回の能登半島地震による犠牲者は建物の倒壊による事が多く、それによる火災の発生が大きな犠牲を生み出したと思われます。

今回の地震災害も能登半島地区だけでなく、東日本大震災の時と同じように、石川、富山、新潟等と広範囲に災害が発生し、近隣の県や市町村に救援要請をしても駆けつけられる状況ではありませんでした。

我が市に於いても東日本大震災の後も多く災害対策を講じてきましたが、まだまだ、完璧ではありませんし、今回の能登半島地震を教訓に、更なる我が市の防災対策を構築して行かねばならないと考えます。

また、火災が発生した場合、例えば、広域的な災害により常備消防にも限界があり、また、断水により、消火栓が使用できなくなった場合に防火水槽や、川などからの取水に頼らざるを得なくなることから、事前に消防車等の進入路や待機場所の環境整備が必要と考えます。地震災害だけでなく常日頃からの火災災害に対しても早急な対策が必要と考え、質問、提言をさせていただきます。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 宮城県沖地震や長町利府断層直下型地震発生に対する対策について伺う。
- 2 震度7の地震の場合、富谷市内での倒壊の恐れのある住宅、建物はどれ位あるのか。また、昭和56年以前に建築された住宅がどの位あるか伺います。
- 3 昭和56年以前の建築住宅の多い旧16地区、特に歴史的建造物や古い住宅が密集している新町地区の地震災害時の火災発生に対しての対策は十分か。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 我が市の都市計画について

---

【質問要旨】－簡明に－

第二仙台北部中核工業団地へ半導体工場が新設される事が決定され、新工場は2024年の着工で、2027年に稼働開始される予定とのことであります。投資額は8,000億から9,000億と言われており、台湾より200名から250名の技術者が派遣され、日本国内に於いても1,000人規模の雇用が見込まれるとの事があります。台湾から派遣される技術者の住居については、地下鉄の駅がある泉中央駅に近い場所がクローズアップされると言われておるようです。

これからの我が市に於いても、地下鉄の泉中央よりの北伸はもとより、今まで以上に工業団地や住宅地といった住環境の整備に伴い、都市計画の見直しが必要になると考えます。そのためにも、一日も早い富谷ジャンクションのフルジャンクションを強く望むものであります。

近年の我が市を含めた近隣市町村に於いては発展が著しく、常に都市計画の見直しを念頭に置かなければなりません。そこで、県の次期都市計画の見直し（宮城県仙塩広域都市計画）に向けた改定の準備を進め、更なる我が市の発展に結び付ける事が重要と考えます。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 富谷ジャンクションのフルジャンクション化の見通しについて伺います。
- 2 第二仙台北部中核工業団地への半導体工場の進出に伴い、泉中央からの鉄道延伸について、仙台市、富谷、黒川、大崎市古川を含めた広域な交通網と捉え、環境整備を進める考えがないか、見解を求めます。
- 3 我が市全体の都市計画に於いて、宅地造成地の拡大の見直しと、大清水からとちの木団地までの県有林を含めた土地の有効利用について県と協議する事が重要と考えますが、見解を求めます。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	2月15日(木)
受付時間	10:33

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 17 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。



議員名	菅原 福治
質問方式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 能登半島地震から学ぶ教訓について

---

【質問要旨】－簡明に－

最大震度7を観測した能登半島地震から2ヶ月が経ちました。

今回の震災は、石川県が丸ごと半島という地形と、多くが過疎地に指定されており、道路も寸断され、孤立状態の集落が多く要支援集落が点在しています。交通網は、幹線をバックアップできる道路もなく、また、水道についても県全体で送水管が破損しており、支援の遅れに繋がっているのではないかと感じています。

私達も東日本大震災において、同じ揺れを経験し、水道、ガス等のライフラインについても長い間我慢しました。しかし、能登震災の場合は、避難所の在り方やトイレの問題、生活水の確保等々は、東日本大震災とは比べものになりません。

宮城県に於いても、いつ、大きな地震が起きても不思議ではないことから、最低限の準備をしておかなければなりません。これからは、行政としてどのような被害が想定されるのかを把握し、ハード面の事前の備えと併せて、市民一人一人が、被災を免がれるための方法を考えておかなければならないことを、能登の震災から教えられたのではないのでしょうか。そこで伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 公的避難場所が大惨事を受けた場合の二次避難所の考え方について。
  - 2 木造住宅における耐震化の現状と今後の対策について。
  - 3 マンホール型トイレおよび簡易式トイレカーの整備検討について。
  - 4 段ボールベットを各避難所に整備すること及び高齢者数等に合わせた今後の増数計画について。
  - 5 ボランティア活動を円滑にするため、関係機関との事前連携確認について。
  - 6 大震災に備えた避難路の確保と、仮設住宅設置場所の検討について。
  - 7 セヶ宿ダム県仙南・仙塩広域水道と、漆沢ダム県大崎広域水道の送水管のチェック確認と、漆沢ダムと南川ダムとの連携した水の確保について。
- 

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 ・ 一問一答

No. 2 質問件名 いじめ問題を人権問題として捉え、市長部局に課の設置について

---

【質問要旨】－簡明に－

いじめ問題は、精神的に非常に敏感で傷つきやすく、ともすれば、当事者間でブラックボックス化してしまう事が考えられるため、一刻も早く対策を講じなければ、命に関わる大きな問題に発展する恐れがあります。

大阪寝屋川市においては、市長部局に監察課を新設し大きな成果を上げており、令和4年度において、知り得た全てのいじめ問題を1ヶ月以内に解決したと聞いております。

(参考:ジチタイワークス, 2023, V o 1, 28)

そこで、本市に於いても、寝屋川市の事例を参考に、同様の組織の変更を行うと伴に、子どもをいじめから守るための条例を制定し、子どもにやさしいまちとして、いじめ対策の充実といじめ問題の解決に繋げて戴きたいと思っておりますが、見解を伺います。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 小・中学校のいじめの現況と、教育カウンセラー等現状と課題について。
- 2 長期的・複雑化したいじめへの対応と、教員への具体的な指導について。
- 3 寝屋川市は、いじめは市民への重大な人権侵害であることから、市長部局に監察課を新設し大きな成果を上げておりますが、本市に於いても同様の組織の変更が必要と考えますが、見解を求めます。
- 4 市長部局がいじめ問題に介入することにより、教職員の働き方改革に繋がると考えますが見解を求めます。
- 5 いじめ問題に市長部局が取組むことにより、若い子育て世代の方が住み、子どもにやさしいまちづくりに繋がると考えますが見解を求めます。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	2月15日(木)
受付時間	11:10

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 13 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 視覚障がい者支援について

---

【質問要旨】－簡明に－

視覚障がい者で、国の難病指定になっている網膜色素変性症という目の中の網膜に異常が起こる遺伝子の病気があります。一般的な症状として、暗いところで物が見えにくい「夜盲」、視野が狭くなる「視野狭窄」や「視力低下」が挙げられています。

このような方へ、暗所視支援眼鏡の購入に対する自治体の自己負担への支援、あるいは、仙台市のように貸与費や修理費へ対しての支援を行っている自治体もあります。日常生活用具の対象にはなっていませんが、本市としても視覚障がい者に対する支援拡充を求めるものです。

また、広報誌や災害時のハザードマップなどの公的通知に音声コードなどを作成導入すべきであると思い、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 網膜色素変性症患者などの方へ暗所視支援眼鏡の認識について、お伺いいたします。
- 2 難病指定であります。日常生活用具の給付対象ではない状況です。しかしながら、他の自治体において支援の拡大が進んでいますが、当局の見解をお伺いいたします。
- 3 広報誌や災害時のハザードマップなどの公的通知に、視覚障がい者の情報サポートとして音声コードを付与してはどうか、お伺いいたします。
- 4 第7期障がい福祉計画に音声コードを導入し、その部分に切り欠きなどを付けることを求めますが、見解をお伺いします。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 石積地区の交通安全対策について

---

【質問要旨】－簡明に－

交通安全対策については、これまでも様々な通学路や交通量の多い地域に対する改善策を講じて頂きました。

しかしながら、石積地区においては、「やすらぎパークとみや」や「大亀山森林公園」などへ行く場合のルートとなっており、また、利府に抜ける車両の多さも懸念される状況です。以前より石積地区においては歩道の設置を求めおりますが、自転車通学の一時安全確保や田畑で作業する歩行者の安全を確保するために、是非とも歩道を設けるべきであると考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 交通量の増加となっている石積地区についての認識、見解を伺います。
- 2 歩道設置の要望を求めてきた経緯があるが、対策について見解を伺います。
- 3 自転車通学者の安全確保、住民の安全と車両の安全走行に繋がると考え、歩道の設置を求めますが、見解を伺います。

---

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 3 質問件名 災害対策と避難所運営について

---

【質問要旨】－簡明に－

今般の能登地方災害において、いち早く支援物資を届けるなど本市の災害支援の取り組みは市民からもとても感謝の声が届いております。

今回の能登地震災害は、東日本大震災とは違い、かなりの倒壊住宅や道路の寸断などの被害の報道に触れ、改めて災害に強い街づくりが大事であると感じました。

そして、今回の能登地方の災害において、関連死も含め、避難所運営等これまでにない多くの課題を突き付けられていると思います。ちなみに、熊本地震における関連死は223人となっていますが、原因は避難生活中の心身の不調や負担によるものです。

東日本大震災から13年目を迎え、今回の地震報道から、本市のこれからの災害対策、避難所運営、関係者が被災した時の連携、子どもや、高齢者支援等改善すべき点があると思い、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 公共施設、避難所となる学校等の耐震化改修は万全であると認識していますが、現状についてお伺いいたします。
- 2 避難所環境について、関連死を防ぐTKB48の標準化について見解を伺います。
- 3 無電柱化について、メリット・デメリットはあるが、被災を最小限に食い止め、景観モデル地域や今後の団地開発に向けて必要と思うが、見解を伺います。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	2月15日(木)
受付時間	11:24

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月15日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 12 番 長谷川 る美

質 問 方 式  一括方式  一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 骨粗鬆症対策の強化と健康意識の向上について

---

【質問要旨】－簡明に－

骨粗鬆症対策の強化により、骨が健康に保たれ、健康寿命を延ばすことは本市総合計画に掲げる「健康自慢のまち」づくりであると思います。また、健康寿命日本一を目指したまちづくりを目標にしている、志木市のいろは健康ポイント事業について教育民生常任委員会で調査を行いました。この事業は「市民の意識を変えて行動変容を自然と起こす」とのことでしたが、本市の健康づくりはどの様に取り組んでいるのか。また、志木市のようなポイント事業に対する見解をお伺いします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 健康づくり活動や健康教室の実施状況と内容について。
- 2 若年女性の骨粗鬆症予防に向けた包括的な取り組みについての見解は。
- 3 国民健康づくり運動プランの基本的な方針にある「行政だけにとどまらない多様な主体を巻き込んだ健康づくりの必要性」についての見解は。
- 4 本市における健康意識を高める活動の内容と課題、インセンティブについて。
- 5 志木市の「いろは健康ポイント事業」についての見解は。

---

答弁を求める者 市長



議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 市職員のワークライフバランスの推進の強化について

---

【質問要旨】－簡明に－

今後、本市においても、様々な市政課題を解決していくためには、育児や介護等の事情にかかわらず、全ての職員が生活と仕事の両立・調和を目指すことが重要であり、ワークライフバランスの推進に向けて、一層取り組んでいく必要があると考え、以下質問いたします。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 ワークライフバランスの取り組みの検証と改善点について。
- 2 直近3か年の時間外労働の推移と、1人当たりの平均時間外労働の時間及び最大値と最小値は。
- 3 直近3か年の年次有給休暇・病気休暇・育児休暇(男性職員も含む)・介護休暇の取得状況は。
- 4 フレックスタイム制度やテレワーク制度の見解は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	2月16日(金)
受付時間	10:02

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月16日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 胃がん検診に内視鏡検査導入を

【質問要旨】－簡明に－

日本人のがん死亡率で大腸がん、肺がんが続いて胃がんは第3位となっております。今や2人に1人が、がんを発症する時代となり、早期発見、早期治療が最も重要であります。胃がん検診において、最近では従来のバリウム検査と、内視鏡検査の選択制を導入する自治体が増えています。宮城県でも仙台市、大衡村が導入しました。他の市町についても導入に向けての動きがあるようです。内視鏡検査は小さながんの発見率がバリウム検査と比べて3～4倍高く、2年に1度の検査で早期のがんを発見できます。疑わしい場合は、直ぐに病理組織検査が出来るため、診断が格別に早くなります。一方、バリウム検査は、陰の影像で判断するため、精度が低く、再検査で内視鏡検査を受けなくてはなりません。また、ご高齢の方からは、台の上に立ったまま回転することや、便秘になる場合もあることから受診が困難との声を多く頂戴しています。今年4月に新がん検診センターがオープンしますが、医療機関との連携が出来ており、検診から読影、病気が見つかった方には医療機関の紹介まで一貫して実施できるようになりました。

内視鏡検査の技術が格別に進んでいる昨今、市民の皆様が検査方法を選択出来るよう、本市においても直ぐに取り組むべきと考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市において胃がん検診でバリウム検査と、内視鏡検査の選択制を導入すべきと考えますが、見解は。
- 2 市民から内視鏡検査導入の要望はありますか。
- 3 導入する上での課題は。
- 4 若年世代の受診率向上のため、申し込み方法に電子申請システムを導入しては。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	2月19日(月)
受付時間	8:39

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・  一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 6年度予算案の大型事業について

---

【質問要旨】－簡明に－

令和6年度当初予算については、債務負担行為の早期設定により、入札時期が前倒し可能となり、実契約ベースでの予算要求や、公共工事発注の平準化と事業効果の早期実現を図るため、今年度2月補正予算と6年度当初予算との連動・連携を図りながら編成したと、施政方針で述べられております。

その結果、令和6年度一般会計当初予算案は、総額185億8,900万円、対前年度比30億4,400万円、19.6%増と、5年連続で過去最高額を更新する規模となっております。

歳出の主な増加要因とされた4事業の概要について、以下質問します。

---

【質問項目】－列記－

- 1 図書館等複合施設の整備について。
- 2 東向陽台小学校放課後児童クラブの建替えについて。
- 3 成田二期北工業用地造成を見据えた埋蔵文化財発掘受託事業について。
- 4 国が進める自治体標準化システム移行業務について。

---

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 2 質問件名 地域おこし協力隊のその後は

---

【質問要旨】－簡明に－

令和元年12月26日制定の「富谷市地域おこし協力隊」設置要綱第1条に「富谷市において、市外の人材を積極的に誘致し、その定住及び定着を図り、もって地域力の維持及び強化並びに地域の活性化に資するため、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日付け総務事務次官通知）に基づき、富谷市地域おこし協力隊を設置する。」と制定され、令和2年5月1日に3名の協力隊の方を委嘱し、スタートしました。

地域おこし協力隊のその後の状況について、以下質問します。

---

【質問項目】－列記－

- 1 これまでの採用者と、その後の市内での定住・定着者は。
- 2 現在の採用状況と配置状況は。
- 3 令和6年度、債務負担行為での採用計画は。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	2月19日(月)
受付時間	9:36

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・  一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 国民健康保険について

---

【質問要旨】－簡明に－

近年のコロナや異常な物価高騰は、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

国民健康保険の加入者の問題は、加入者の年齢構成が高く、一人あたり医療費について年々増加しております。

今後の都道府県、保険料水準の統一に向けた対策も必要と考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 国民健康保険の加入状況は。
- 2 基金の活用状況は。
- 3 短期証明書の発行状況は。
- 4 保険税の払いきれない加入者の生活実態の把握は。
- 5 保険税水準統一化後の保険料の見通しは。
- 6 国保加入者の特定健診受診状況と受診の勧奨は。

---

答弁を求める者 市長



議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 児童、生徒の登下校の安全確保について

---

【質問要旨】－簡明に－

近年、温暖化もあり、一年を通して熊の出没が続いています。

頻繁に出没する場所の近くには、小中学生の通学路もあり、不安に感じている保護者も少なくありません。

秋田県では、昨年10月、中高生を含む6人が熊に襲われ負傷しており、被害にあわない対策が必要です。

環境省より「クマに注意！～思わぬ事故を避けよう～」と題した、児童、生徒や保護者向けの冊子が出されており、活用も必要と考え、以下質問します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 熊などが出た際の教育委員会としての対応は。
- 2 通学路での熊などの鳥獣被害を避ける対策が必要では。
- 3 児童生徒だけでなく、保護者向けの勉強の機会が必要では。

---

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	2月19日(月)
受付時間	9:43

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 9 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 <input type="checkbox"/> 一問一答

No. 1 質問件名 市内の法面の管理について

【質問要旨】－簡明に－

2001年以降宮城県内において震度5以上の地震発生状況を調べてみたところ、2001年～2010年までの10年間に11回、2011年～2020年までの10年間に23回、2021年に2回、2022年に3回で合計39回も発生していました。また、宮城県公式ウェブサイトで宮城の水害記録によると2001年以降大規模な水害が7回発生しています。特に、2011年以降水害時の降水量を見てみると、時間雨量・日雨量・総雨量が統計開始以来、過去最大の言葉が多くみられます。このような状況の中、市が管理している法面について、市民の方から崩落等への心配の声が複数ありました。一例ですが、富ヶ丘四丁目地内のブロック積法面は、一昨年3月の地震直後に目地が広範囲にわたり剥がれたり、ブロックの一部も欠けたりして道路上に散らばっていました。逗子市で2020年2月に発生した斜面の崩落に女子高生が巻き込まれ、亡くなられた事故は記憶に新しいところです。

「住みたくなるまち日本一」を目指す本市は、「住みよさ」、「住み続けたい街」、「住みごこち」などのランキングで東北第1位を複数年取っています。更に、住民が安心して安全に生活できるよう、法面の管理を適切に行うとともに、市民へは、正しい情報を適時お知らせする必要があると考えています。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内の法面のうち、地震や大雨時に重点的に管理している箇所について。
- 2 補修や、改修の必要な法面の有無について。
- 3 法面の定期的な点検等現状把握状況について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	2月19日(月)
受付時間	9:59

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・  一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	須藤 義
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 総合公園の整備について

---

【質問要旨】－簡明に－

市民の方々から、本市総合公園の整備について要望する声が届いています。特に、子育て世代の方々からは、親子で遊べる広い芝生の広場や大型複合遊具を有する公園を要望する声が上がっていますが、大亀山森林公園にはそれらがいないため、本市のファミリーは近隣の大衡村や利府町の総合公園まで足を伸ばさねばなりません。

「子どもにやさしいまちづくり」を宣言し、「住みたくなるまち日本一」を掲げる本市ですので、子どもを伸び伸びと遊ばせることのできる総合公園の整備は喫緊の課題と考えます。現在本市が抱える行政課題の中でも、とりわけ総合公園整備の優先度を高めて、鋭意課題に取り組んでいただきたいと考え、以下のとおり質問致します。

---

【質問項目】－列 記－

- 1 小さな子どもを持つファミリーは、大衡村や利府町の総合公園のように、広い芝生や大型複合遊具を持つ総合公園を望んでいます。大亀山森林公園でそれが実現できない要因は何か、見解を伺います。
- 2 大亀山森林公園で大規模な改修が難しいのであれば、別の場所に新たな総合公園を整備することはできないか、見解を伺います。
- 3 本市総合公園の整備の在り方について、今後の展望や計画を伺います。

---

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	2月19日(月)
受付時間	11:45

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 6年 2月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・  一問一答方式

令和6年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則  
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一問一答</span>

No. 1 質問件名 ゼロカーボンシティ戦略の推進状況及び農業の施策等について

【質問要旨】－簡明に－

2050年ゼロカーボンの実現に向けて、2030年までの中間目標が示されたが、気になる点があるいくつかあるので質問します。まずは大規模太陽光発電、いわゆるメガソーラーに関してです。基本的に森林伐採とセットで実施されるものですが、そもそも森林はCO<sub>2</sub>を吸収する役割を果たしており、それを破壊して太陽光パネルを設置することが果たして環境に良いと言えるのでしょうか。

続いて、ペーパーレス化に関してです。紙を製造するのにかかる環境負荷は大変大きく、ペーパーレス化は政府も推進しています。タブレット支給で子供達にペーパーレス化を強いる前に、まずは、我々大人が率先して解決していくべき課題だと思います。

次に、農業関連ですが、最近ではカーボンクレジットという、国が推奨する制度を導入することで、企業は地球温暖化防止に貢献でき、米農家は副収入を得ることができるという、ウィンウィンの制度があります。そういった制度を積極的に導入し、周知することは非常に重要になってくると考えます。また、化成肥料の量を減らし、堆肥をはじめとする有機肥料を活用することでCO<sub>2</sub>の削減につながります。

一方で、温暖化による気候変動の農業における対応策を早急に示す必要があります。温暖化対策と環境保全のバランスを考え、具体的なビジョンを示す必要があると考えます。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市におけるメガソーラーの導入実績と管理状況は。
- 2 メガソーラー導入で懸念される自然災害と、その対策は。
- 3 本市全体における太陽光発電導入の実績と申請状況は。
- 4 ペーパーレス化を推進する意思は。
- 5 カーボンクレジット制度の導入を推進する意思は。
- 6 有機肥料の活用を推進する意思は。
- 7 農業における気候変動対策の詳細は。
- 8 農業・林業をはじめとする自然環境・生態系の保全に関する本市の中長期的なビジョンは。

答弁を求める者 市長